

## 令和6年度 食品ロス削減推進協議会 議事要旨

### 1 日 時

令和7年2月14日（金） 13:30～15:00

### 2 場 所

県庁舎 議会棟1階 第1会議室

### 3 出席者

○委員11名（委員14名のうち3名欠席）

氏 名	所属団体・役職等
デュアー <sup>たかこ</sup> 貴子	東海学院大学健康福祉学部学部長 教授
<sup>まえざわ</sup> 前澤 <sup>しげのり</sup> 重禮	岐阜大学社会システム経営学環特任教授
<sup>みずたに</sup> 水谷 <sup>おさむ</sup> 治	全国農業協同組合連合会岐阜県本部管理部次長
<sup>あきもと</sup> 秋元 <sup>たけし</sup> 武	(株) バローホールディングス 管理本部サステナビリティ推進室長
<sup>たかはし</sup> 高橋 <sup>しげお</sup> 重夫 (代理: <sup>いとう</sup> 伊藤 <sup>よりあき</sup> 順昭)	岐阜県飲食生活衛生同業組合理事長
<sup>ふなだ</sup> 船田 <sup>じゅん</sup> 淳	岐阜県商工会議所連合会 岐阜商工会議所事務局長
<sup>やまもと</sup> 山本 さちよ	岐阜県食生活改善推進員協議会副会長
<sup>わたなべ</sup> 渡辺 <sup>あきなお</sup> 顕直	(福) 岐阜県社会福祉協議会生活支援部長
<sup>かどわき</sup> 門脇 <sup>えいこ</sup> 栄子	生活協同組合コープぎふ組合員理事
<sup>ごとう</sup> 後藤 <sup>みほ</sup> 美保	(公社) 岐阜県栄養士会副会長
<sup>しのび</sup> 忍 <sup>てつや</sup> 哲也	飛騨市環境課

### ○事務局（岐阜県環境生活部）

西 千代美 環境生活部次長

森 信輔 環境生活部県民生活課長

柴田 優子 環境生活部県民生活課消費生活対策監

小池 裕美 環境生活部県民生活課課長補佐兼消費生活安全係長

## 4 議事要旨

### (1) 令和6年度推進施策実施状況について

事務局から令和6年度推進施策実施状況の説明を行った後、委員との意見交換を実施。

#### 【委員】

- ・今後も引き続き、食品ロス削減に係る幅広い取り組み行っていただきたい。

#### 【委員】

- ・食品ロスの削減については、私たちが毎日、家庭の中で意識を持っていかねばならないと感じている。食品ロスを出さないようなレシピ本を作成するなど、地域の方々と一緒に集まって楽しく取り組めるような活動をしていきたい。

#### 【委員】

- ・飛騨市では、食品ロス削減を推進するために、小学生を対象とした食べきり教室や、募集した標語を記載したティッシュを子ども達と一緒に店頭で配るキャンペーンを行っている。しかし、食品ロス削減に係る取り組みを実施しても一過性のイベントで終わってしまい、広がらないことが課題であると思った。
- ・食品ロス削減に関するレシピ本があるのであれば、このようなあらゆる情報をSNS等で発していただけるといいと思う。

### (2) 令和7年度推進施策について

事務局から令和7年度推進施策の説明を行った後、委員との意見交換を実施。

#### 【委員】

- ・食品ロス削減推進は、活動の対象として2つあると考えている。1つは、企業や団体などの組織に対してであり、2つ目は県民に対する食品ロス削減である。企業や団体へは命令系統が整っているため食品ロス削減への取り組みが行いやすいが、県民個人への啓発は難しく、アプローチ方法を検討してすべきである。また、県民へは、個人の活動或いは購買意欲に対して、自分が社会に貢献している気持ちを持ってもらえるようなアプローチが必要である。

#### 【委員】

- ・食品ロス削減は、まずは家庭から取り組んでいくことがよいと思う。子ども達に色々な体験をさせていただくことが第一だと感じる。

#### 【委員】

- ・来年度事業案の中で、食品関連事業者という事業者の部分について、商工会議所関係団体の啓発資料の配布や食品関連事業者への技術的な相談対応、交付登録再生利用事業者の事例集も具体的な取

組み内容を教えていただきたい。

- ・食品ロス削減について、今後、県と連携した取り組みを実施できたら良いと思っている。

**【委員】**

- ・フードドライブの具体的な取り組みについて、県民に対してさらにPRしていただきたい。
- ・学校でも、地元の企業と連携し地域の食材を利用した食品ロス削減に係る素晴らしい事例を行っていることを知ることができ、大変参考になった。

**【委員】**

- ・資料3の中で、あらゆる項目に「「ぎふ食べきり運動」の全県的な展開」が多く挙げられているが、重要度が高いと考えていると認識してよろしいか。

**【委員】**

- ・食品ロス削減の取り組みについては、高校生や中学生への学校教育の成果がでてきていると感じているが、保護者への意識も高めていく必要があるのではないかと感じている。今後、どのような取り組みを考えているか、現在実施している取り組みも含め教えていただきたい。

**【委員】**

- ・消費期限と賞味期限について、賞味期限が切れても大丈夫だという何かアプローチがあるとよい。正しい情報を提供し、県民の行動変容に結びつくような具体的な働きかけができるとうい。

**【委員】**

- ・多くの機会で、子どもの居場所や応援センターの活動をPRしながら、引き続きフードドライブ等、捨てられる食品をなくしていく取り組みを行っていききたい。